

長久手市社会資本整備総合交付金 (社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画) 評価委員会

令和4年2月4日(金) 9:30～
ながくてエコハウス多目的室

1. 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）の制度について
2. 社会資本総合整備計画について
3. 都市再生整備計画【長久手古戦場駅周辺地区・公園西駅周辺地区】の事後評価について
4. 社会資本総合整備計画の事後評価について
5. 評価委員会後のスケジュールについて
6. フォローアップ計画について

1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

(1) 社会資本整備総合交付金における都市再生整備計画事業の位置づけ

従来の補助金

道路
治水
海岸
まちづくり
下水道
住宅
港湾
都市公園
広域連携
など

- ①個別施設ごと
- ②個々のハード整備
- ③他整備に使用不可
- ④国の事前審査あり

個別補助金を
原則廃止

社会資本整備総合交付金

平成22年度に創設された、国交省所管の個別補助金を一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合交付金
(旧まちづくり交付金 ⇒ 都市再生整備計画事業)

社会資本総合整備計画

基幹事業

- ・ 活力創出基盤整備：道路事業、港湾事業 など
- ・ 水の安全・安心基盤整備：治水事業、下水道・海岸事業 など
- ・ 市街地整備：公園事業、**都市再生整備計画事業** など
- ・ 地域住宅支援：公営住宅整備事業、住環境整備事業 など

関連社会資本整備事業

⇒ 基幹事業と一体的な実施が必要な事業

効果促進事業

⇒ 基幹事業の効果を高めるソフト事業等

- ①計画全体をパッケージで採択
- ②基幹となるハード事業と一体的に行う他種事業を自由選択可
地方公共団体の創意工夫を活かした事業も可
- ③計画内の他事業に国費を自由に充当可
- ④地方公共団体が独自に目標を設定し、事後評価及び公表

1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

(2) 都市再生整備計画事業とは

- 地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的として平成16年度に創設された制度（旧まちづくり交付金）
- これまで個別補助金によって個別に実施していた街路事業や河川事業などを、計画地区単位でパッケージ化し、計画として一括支援される
- 市の自由な予算配分が可能で、自主性・裁量性が高い
- 計画期間は概ね3年～5年

1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

(3) 都市再生整備計画事業の概要



1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

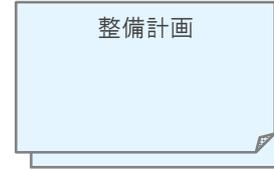
(4) 都市再生整備計画事業における事業実施・評価の流れ

◆ Plan (事前)

都市再生整備計画の作成

- 対象地区の設定
- まちづくりの目標の設定
- 目標の実現状況を定量化する指標の設定
- 実施する事業の整理

整備計画



◆ Act (改善)

必要な改善策の実施

◆ Do (実施段階)

円滑な事業の実施

◆ Check (事後評価)

事後評価の実施

- 目標の実現状況を定量化する指標の達成状況の確認
- 指標に影響を与えた事業の整理
- 事業実施を踏まえたうえで、対象地区における今後のまちづくり方策を検討



1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

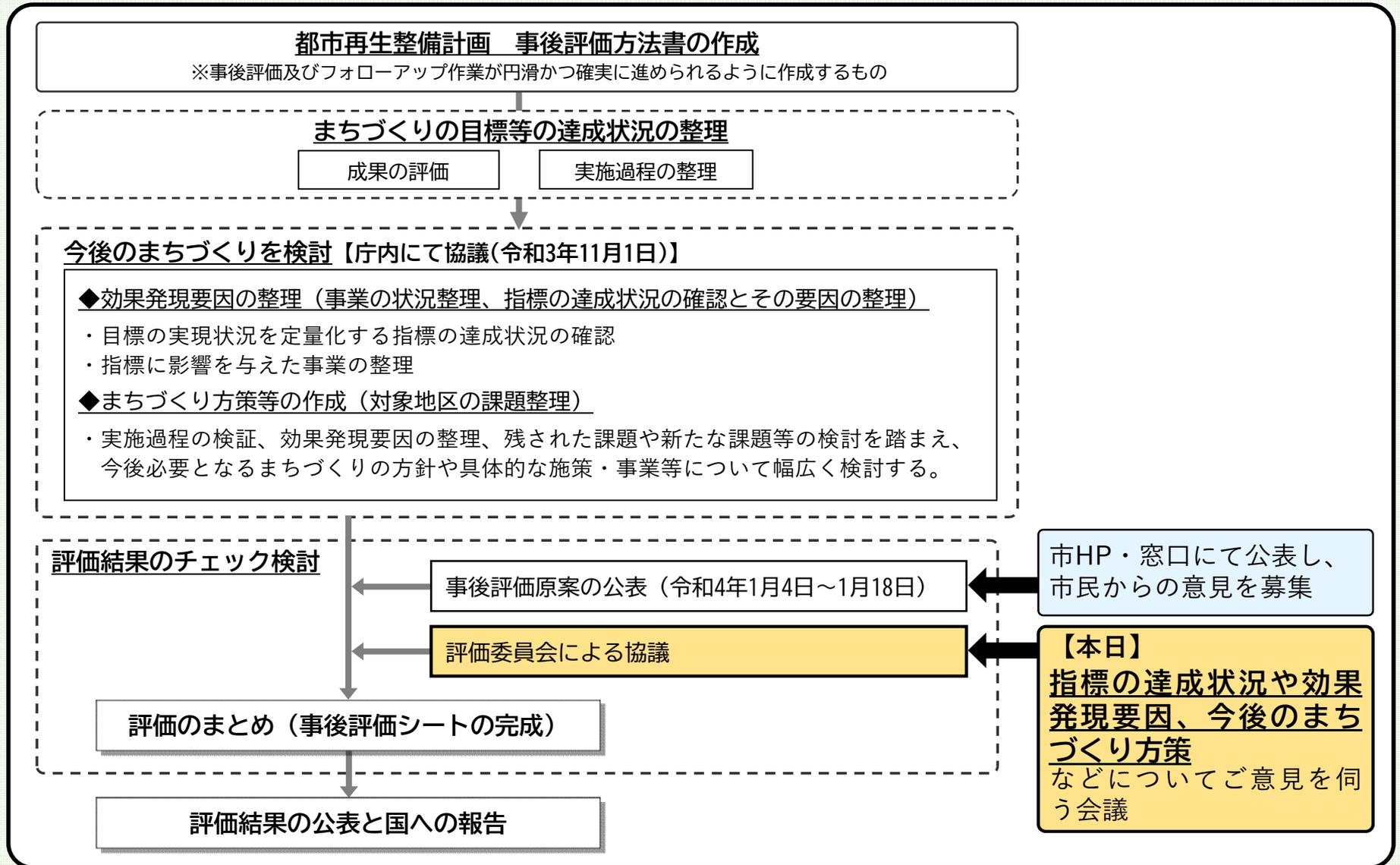
(5) 事後評価とは

- 今後のまちづくりの適切な実施と、事業の成果を住民にわかりやすく説明することを目的に、市町村が主体的に事後評価を実施し、事業の成果などを客観的に評価。
- まちづくりは長期に継続して取り組むべきものであるため、事後評価を踏まえ、各事業による効果を客観的に整理するとともに、今後のまちづくりの方針を明確化し、都市再生整備計画事業の効果を持続させる方策を検討。

※事後評価の実施は、「まちづくり交付金交付要綱 第8項」において「市町村は、交付期間の終了時に、都市再生整備計画の目標の達成状況等について評価を行い、これを公表するとともに、国土交通大臣に報告しなければならない。」と定められている。

1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

(6) 事後評価の流れ



1. 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画)の制度について

(7) 事後評価における評価委員会の役割

評価委員会は市がとりまとめた事後評価結果について、客観的な視点から意見を伺い、不適切な点や改善すべき点を確認するとともに、当該地区の持続的なまちづくりの方策について検討する。

協議①

事後評価について

- ☞ 目標を定量化する指標の達成状況
- ☞ 各指標に対する効果発現要因

協議②

今後のまちづくり方策等について

- ☞ 地区の課題の改善状況
- ☞ 今後のまちづくり方策

2. 社会資本総合整備計画について

(1) まちづくりの目標と目標を定量化する指標

【社会資本総合整備計画 参考様式2】

〈 計画の名称 〉

人・コミュニティ・自然がリニモでつながるコンパクトなまちづくり

〈 計画の目標 〉

○リニモ駅を中心に人と機能が集まり、活気と交流が生まれるまちづくり

○リニモ駅を中心とした地球にやさしい低炭素なまちづくり

目標を定量化する指標



指 標	定 義	従前値 (H29年度)	目標値 (R3年度)
指標 1 リニモ駅利用者 (人/年)	長久手古戦場駅及び公園西駅の利用者数	1,633,000	1,854,000
指標 2 計画区域内の人口 (人)	対象地区内における人口	11,920	12,449

3. 都市再生整備計画の事後評価について

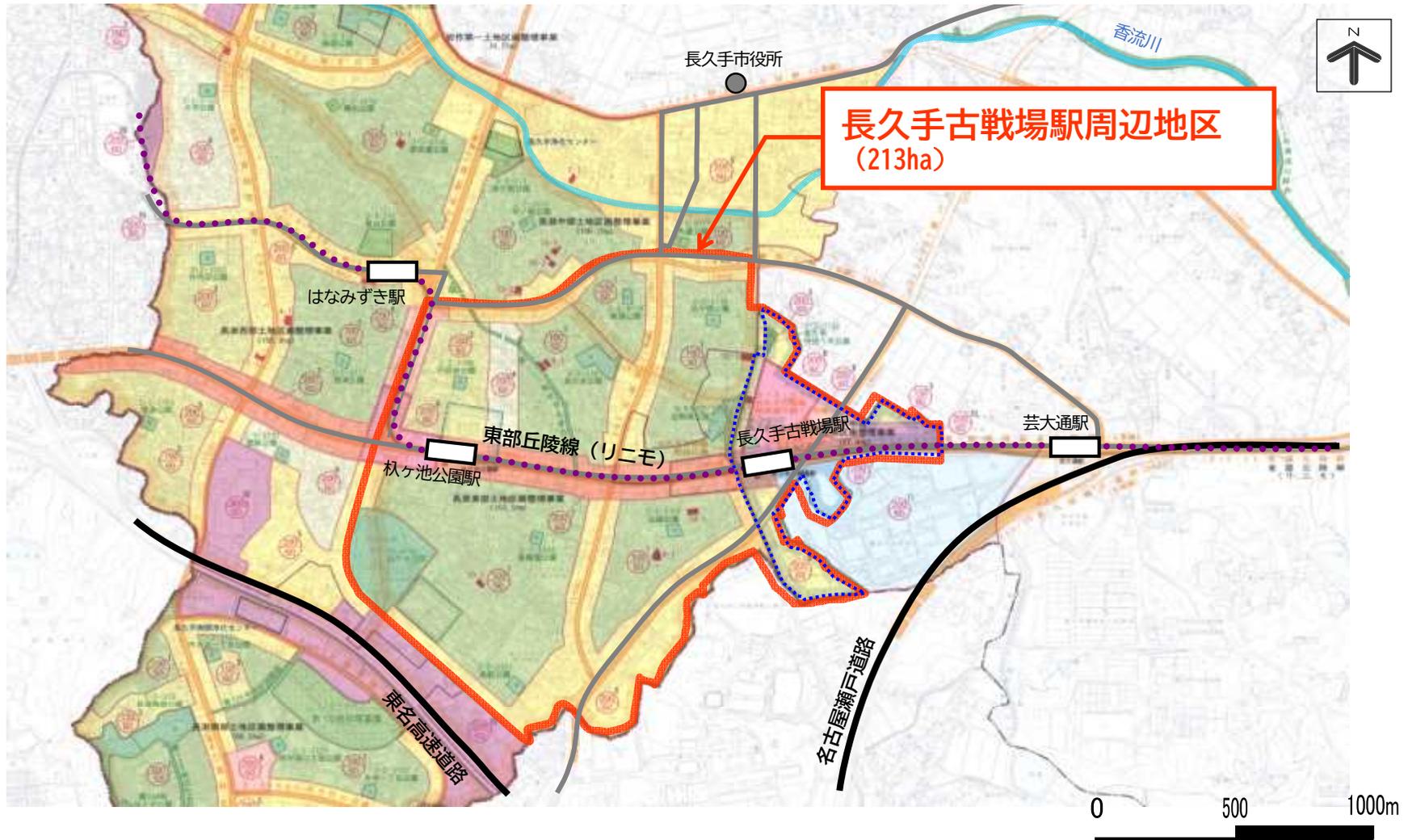
- ▶ 3-1. 長久手古戦場駅周辺地区

- 3-2. 公園西駅周辺地区

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(1) 事業対象範囲

【都市再生整備計画 様式(1)-⑥】都市再生整備計画の区域



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(2) 事業当初に設定したまちの課題

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標設定の根拠

課題1

集客施設が立地し、市内外から多くの人々が集まる駅周辺において、魅力発信や交流促進機能の充実及び交通結節機能の強化が必要である。

課題2

今後も増加が想定される新たな居住者も含め、市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信・交流の場の創出や行政以外の新たなまちづくり主体の育成を進めていくことが必要である。

課題3

土地区画整理事業による面的整備において従来の緑豊かな地域性を保持できる緑化の推進を図ることが必要である。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(3) まちづくりの目標と目標を定量化する指標

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標・目標を定量化する指標

〈 大目標 〉

リニモ駅を中心に人と機能が集まり、活気と交流が生まれるまちづくり

〈 目標 〉

目標①

リニモ駅を中心に人と機能が集積し、利便性の高い魅力あふれるまちの実現

目標②

市民活動に活気生まれ、多種多様な交流による新たなまちの魅力形成の実現

目標③

何度も訪れたい安全で居心地のよいまちづくりの実現

目標を定量化する指標



指 標	定 義	従前値	目標値 (R3年度)
<u>指標 1</u> リニモ駅利用者 (人/年)	長久手古戦場駅 利用者数	1,228,000 (H27年度)	1,388,000
<u>指標 2</u> 計画区域内の人口 (人)	対象地区内における 人口	11,895 (H28年度)	12,216
<u>指標 3</u> 地域共生ステーション利用者数 (人)	地域共生ステーショ ンの利用者数	0 (H28年度)	5,138

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(4) 整備の概要

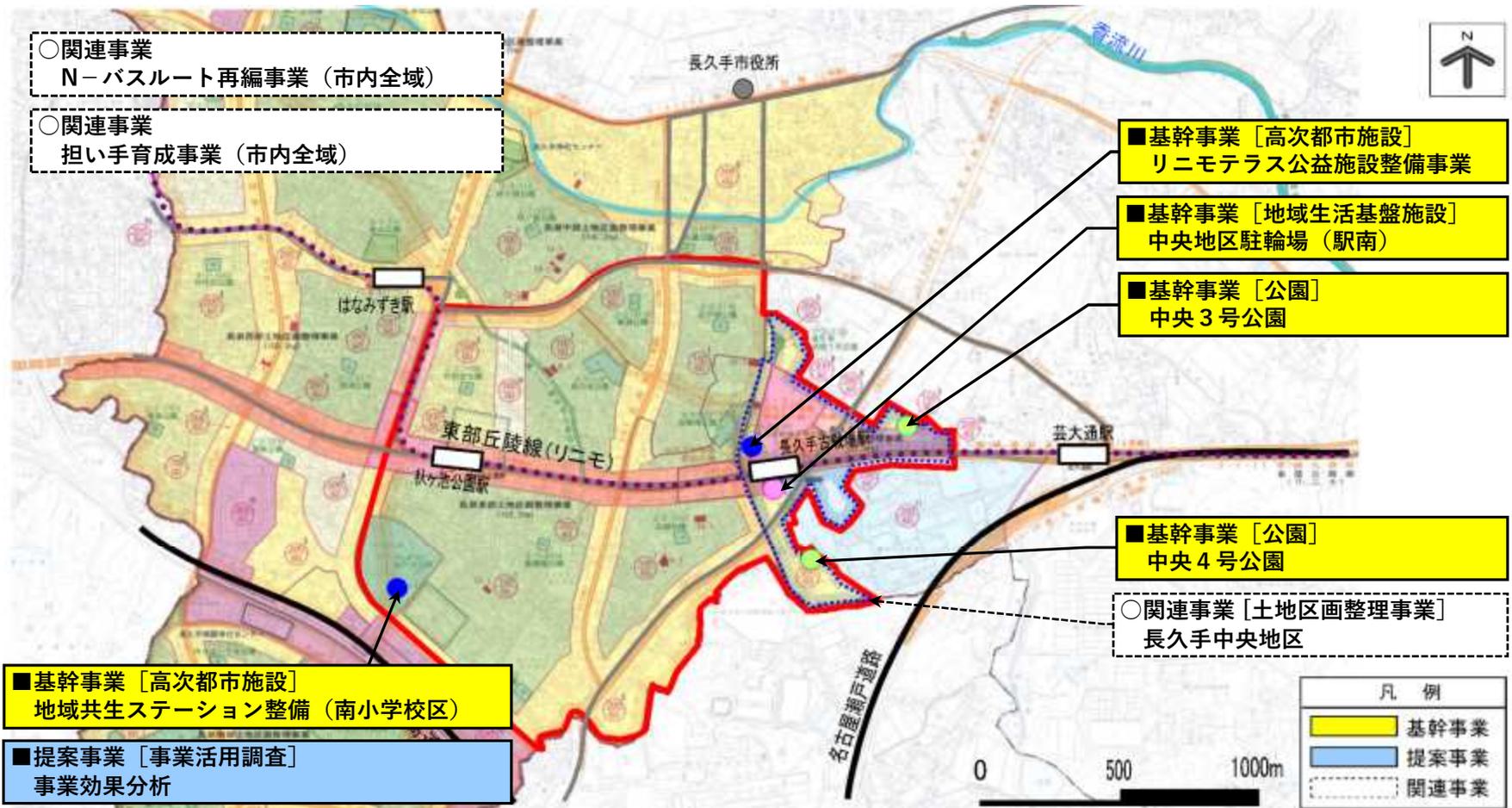
【都市再生整備計画 様式(1)-7-②】整備方針概要図

計画期間

平成29～令和3年度

事業費

506百万円（うち40.0%国費充当）



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(4) 整備の概要 (詳細図)



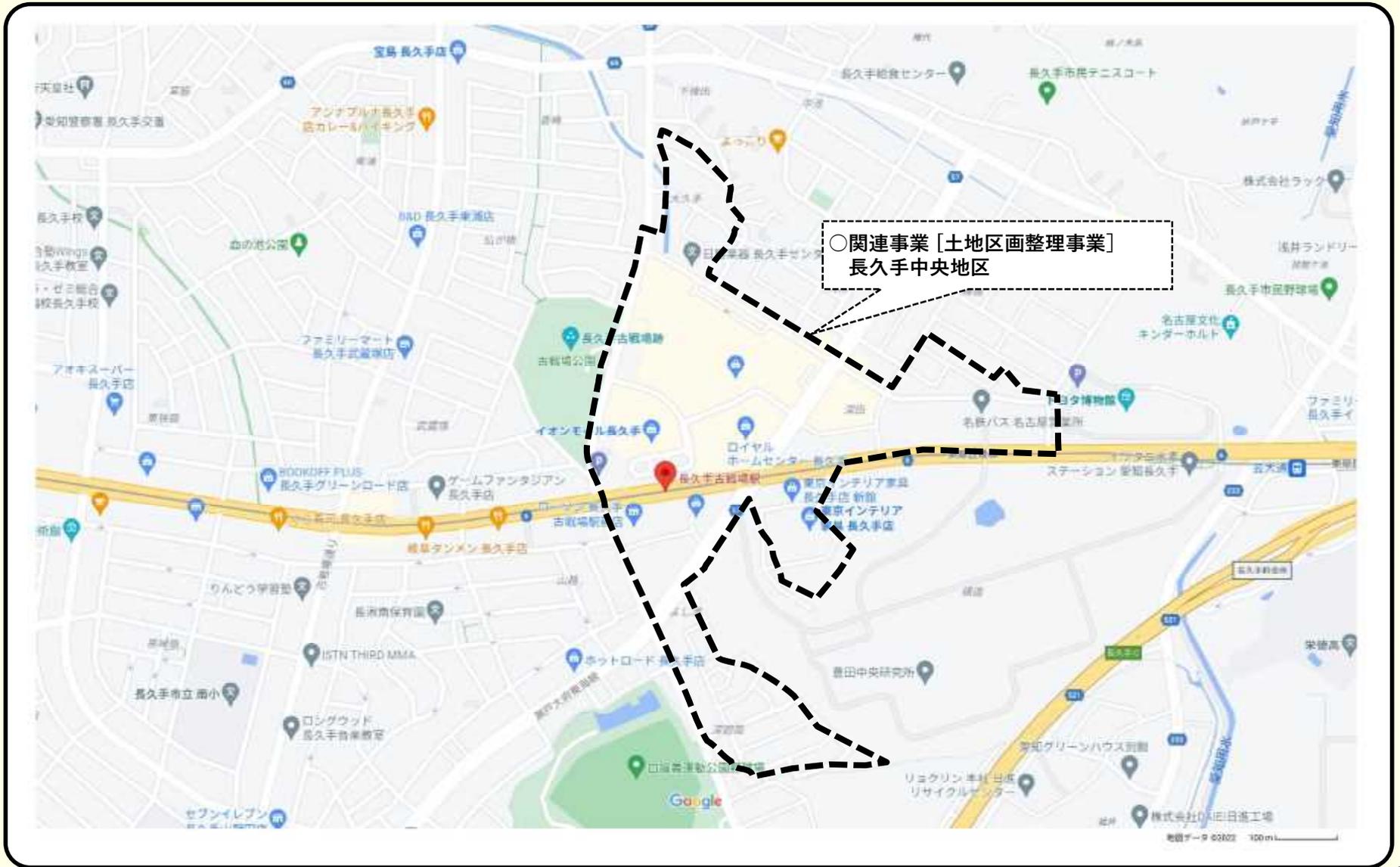
3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(4) 整備の概要 (詳細図)



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(4) 整備の概要 (詳細図)



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(5) 計画の変更経緯 (事業)

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

: 追加した事業 : 削除した事業

種別	事業区分	事業名及び箇所名	規模 (面積、延長等)	当初 (H29.1)	第1回変更 (H30.9)	第2回変更 (R1.9)	第3回変更 (R2.9月)
基幹事業	公園	中央3号公園 (長久手中央地区)	A = 2,290㎡	○		事業費増額	
		中央4号公園 (長久手中央地区)	A = 2,200㎡	○	事業費減額		
	地域生活基盤施設	【駐車場】 中央地区駐輪場 (駅南)	400台	○	事業費減額		
		【緑地・広場】 古戦場公園西側広場整備	A = 3,088㎡	○		削除	
		【人工地盤等】 リノモテラス連絡通路	L = 25m	○		削除	
		【地域交流・観光交流センター】 リノモテラス公益施設整備事業	A = 383㎡	○	事業費減額	事業量減少 事業費減額	事業量減少 事業費減額
	高次都市施設	【地域交流センター】 地域共生ステーション整備 (南小学校区)	A = 369㎡		追加		
	既存建造物活用事業 (高次都市施設)	【古民家移設改築工事】 古戦場公園	A = 257㎡	○	削除		
事業提案	事業活用調査	【事業効果分析】 市内	-	○			事業費減額
関連事業	土地区画整理事業	長久手中央地区	A = 27.3ha	○	事業費増額	事業量減少 事業費増額	事業費増額
	地域共生ステーション整備 事業	南小学校区	-	○	削除		
	担い手育成支援事業	市内全域	-	○			
	N-バスルート再編事業	市内全域	-	○			
	古民家移設改築工事	古戦場公園	A = 257㎡		追加	削除	

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(5) 計画の変更経緯 (指標)

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

目標を定量化する指標)

	指 標	定 義	従前値	目標値 (R3年度)
	指標1【当初】 リニモ駅利用者 (人/年)	長久手古戦場駅 利用者数	1,228,000 (H27年度)	1,388,000
	指標2【当初】 計画区域内の人口 (人)	対象地区内における 人口	11,895 (H28年度)	12,216
削除	指標3【当初】 古戦場公園利用者の満足度 (%)	古戦場公園利用者の 満足度	23.5 (H27年度)	50.0
追加	指標3【追加】 地域共生ステーション利用者数 (人)	地域共生ステーションの 利用者数	0 (H28年度)	5,138

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(6) 主な整備事例①

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■基幹事業【公園：中央3号公園（長久手中央地区）】

事業費	63（百万円）
事業内容	在来生物（カヤネズミ）の生息環境を保全するための観察園を整備。また、多世代が楽しむ公園として、各世代のこどもが遊べる遊具、大人の健康遊具、休憩施設等の整備を行ったもの。

整備後



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(6) 主な整備事例②

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■基幹事業【公園：中央4号公園（長久手中央地区）】

事業費	68（百万円）
事業内容	高低差のある地形を活かした遊び場として、斜面遊具、芝生広場を整備。また、隣接する緑地と一体整備することで豊かな緑化空間の整備を行ったもの。

整備後



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(6) 主な整備事例③

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■基幹事業【地域生活基盤施設：[駐車場]中央地区駐輪場（駅南）】

事業費	28（百万円）
事業内容	住民の生活利便性の向上を図るため、駐輪場整備を行ったもの。

整備後



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(6) 主な整備事例④

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【高次都市施設:[地域交流・観光交流センター] リニモテラス公益施設整備事業】

事業費	186（百万円）
事業内容	来訪者をもてなし、また住民が自らの活動を発信するため、交流拠点の整備を行ったもの。

整備後



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(6) 主な整備事例⑤

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【高次都市施設:[地域交流センター] 地域共生ステーション整備(南小学校区)】

事業費	159 (百万円)
事業内容	住民が主体となって地域づくり活動を行うため、交流拠点の整備を行ったもの。

整備後



3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

指標の目標値の達成状況

指標	定義	従前値	目標値 (R3年度)	評価値 (見込値)	達成 状況
指標1 リニモ駅利用者（人／年）	長久手古戦場駅 利用者数	1,228,000 (H27年度)	1,388,000	1,569,000	○
指標2 計画区域内の人口（人）	対象地区内における 人口	11,895 (H28年度)	12,216	13,135	○
指標3 地域共生ステーション 利用者数（人）	地域共生ステーショ ンの利用者数	0 (H28年度)	5,138	9,113	○

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

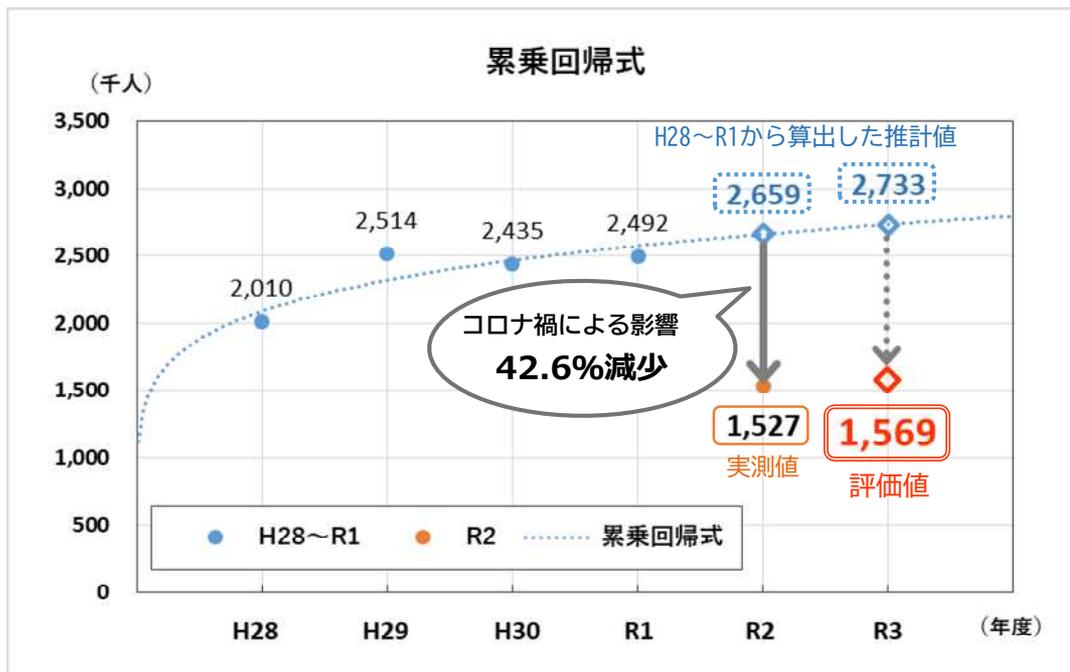
(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標1：リニモ駅利用者（人/年）

従前値 (H27)	目標値 (R3)	評価値 (R3見込値)	達成
1,228,000	1,388,000	1,569,000	○

■評価値の算出



H28～R元年度の利用者数より伸び率を推計し、R2とR3の推計値算出した後、R2の推計値と実測値を比較してコロナ禍による影響度を算出し、R3もR2と同様のコロナ禍による影響を受けるとして、評価値を算出。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標1：リニモ駅利用者（人/年）

効果発現要因（案）

駅南側の駐輪場整備やN-バスのルート再編による駅へのアクセス性向上、リニモテラス公益施設整備による駅周辺の魅力向上のほか、関連事業である土地区画整理事業による人口増加が、駅利用者数の増加に繋がったと考えられる。また、土地区画整理事業地内に立地した駅直結の大型商業施設（イオン）が開店したことも、駅利用者数の増加に繋がったと考えられる。

指標の達成状況に関する主な事業

【基幹事業】

- ・ 地域生活基盤施設（中央地区駐輪場（駅南））
- ・ 高次都市施設（リニモテラス公益施設整備事業）

【関連事業】

- ・ 土地区画整理事業（長久手中央地区）
- ・ 担い手育成支援事業（市内全域）
- ・ N-バスルート再編事業（市内全域）

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

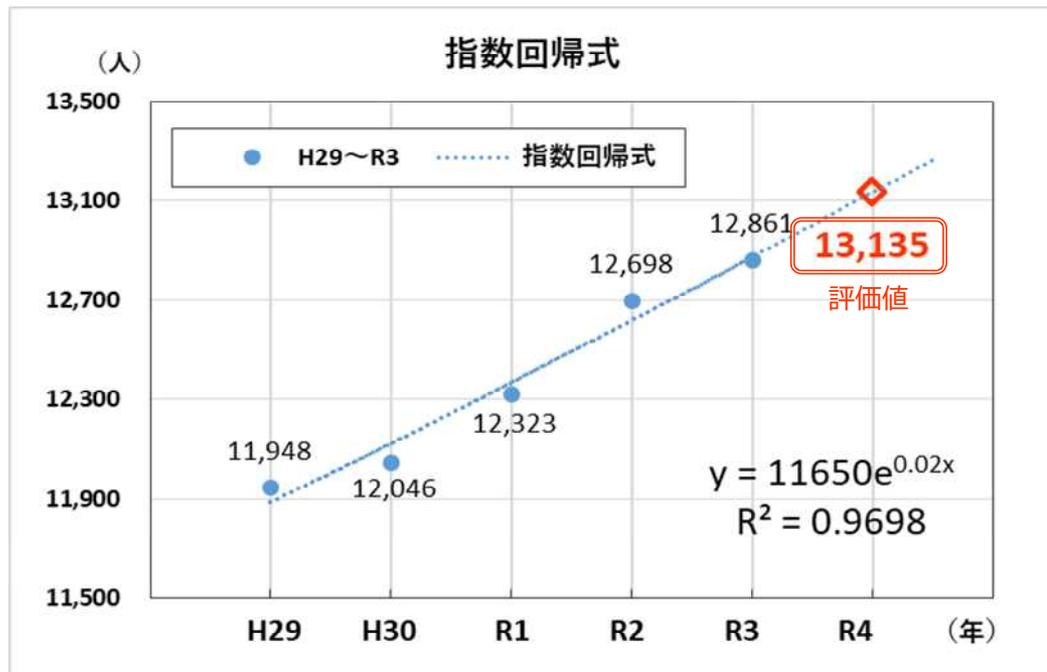
(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標2：計画区域内の人口（人）

従前値 (H28)	目標値 (R3)	評価値 (R3見込値)	達成
11,895	12,216	13,135	○

■評価値の算出



H29年～R3年（5年間）の4月1日時点の人口より伸び率を推計して、評価値を算出。

〈参考〉

R4.1.1時点の人口：13,055（人）

評価値との差：80（人）

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標2：計画区域内の人口（人）

効果発現要因（案）

公園、地域共生ステーションの整備による生活環境や交流機能の向上のほか、土地区画整理事業で宅地化が進んだことが、計画区域内の人口増加に繋がったと考えられる。

指標の達成状況に関する主な事業

【基幹事業】

- ・公園（中央3号公園、中央4号公園）
- ・地域生活基盤施設（中央地区駐輪場（駅南））
- ・高次都市施設（リニモテラス公益施設整備事業、地域共生ステーション整備(南小学校区))

【関連事業】

- ・土地区画整理事業（長久手中央地区）
- ・N-バスルート再編事業（市内全域）

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標3：地域共生ステーション利用者数（人）

従前値 (H28)	目標値 (R3)	評価値 (R3見込値)	達成
0	5,138	9,113	○

■評価値の算出

地域共生ステーションの開設（R2年9月）以降の利用者数より、令和3年度の下半期の利用者数を推計して、評価値を算出。（トイレのみの利用者数を考慮）

□利用者数推移とトイレのみの利用者数割合

R2年度下半期（10～3月）	4,906人	...①
R3年度上半期（4～9月）	6,179人	...②
トイレのみの利用者割合	17.6%*	...③

*R3.4～10月の調査結果より

- ・上半期の対する下半期の割合
① ÷ ② = 0.79 ...④
- ・R3年度下半期の利用者数の推計値
② × ④ = 4,881（人）
- ・②④よりR3年度の利用者数の推計値
② + ⑤ = 11,060（人）
- ・⑤のうち、トイレのみの利用者17.6%を除いて評価値を算出
⑤ × (1 - ③) = **9,113（人）** 評価値

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標3：地域共生ステーション利用者数（人）

効果発現要因（案）

地域共生ステーションの整備にあたり、コンセプトや設計内容についてワークショップを行い、市民協働で事業を進めたことのほか、施設が公園内に整備されたことで、市民活動団体のほか、ふらっと立ち寄る人、公園の利用と合わせて施設を利用する親子、散歩をする高齢者等で賑わい、つながりづくりが始ったことも、利用者数の増加に繋がったと考えられる。

指標の達成状況に関する主な事業

【提案事業】

- ・高次都市施設（地域共生ステーション整備(南小学校区)）

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 実施過程の評価

【事後評価シート 様式2-1】5)実施過程の評価

■住民参加プロセスの実施状況

①リリモテラス公益施設ワークショップ【計62回（H28年度～R2年度）】

- ・市民参加型のワークショップ等を実施し、施設の必要性及び設計内容等について、市民が主体となって事業を実施することができた。
- ・この活動を通じて任意の市民団体が発足するなど、市民が主体となってまちづくりをしていく機運を高めることができた。

➡ これまで関連してきた市民団体が主体となって、更に新たな活動主体が生まれるよう取組を支援し、市民主体のまちづくりを活性化させていく。

②地域共生ステーション（南小校区）ワークショップ【計18回（26年度～30年度）】

- ・市民参加型のワークショップを実施し、施設のコンセプトから設計内容に渡って協議を行ったことにより、市民が自ら地域の課題を考え、行動する機運を高めることができた。

➡ 市民参加型のワークショップで決定したコンセプトを、施設の運営・管理に反映させるため、市民と協議してルール作りをしていく。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 実施過程の評価

【事後評価シート 様式2-1】5)実施過程の評価

■持続的なまちづくり体制の構築状況

①リリモテラス公益施設 【リリモテラス運営協議会】

- ・長久手市が策定した「リリモテラス公益施設(仮称)整備基本計画」に基づき、市民主体のまちづくりと事業・運営方法について同市へ提案することを目的として、事業・運営方法について協議を行っている。

➡ 完成後の施設での利用者ニーズをふまえ、リリモテラス運営協議会がその運営方法等に関与し、市民が市民を巻き込んでいくような機運の醸成を図っていく。

②地域共生ステーション（南小校区） 【南小校区共生ステーションの運営・管理を考える会】

- ・将来、施設の運営・管理を市民主体で担うことを目的として、施設を使用する市民が運営・管理のルールについて協議を行っている。

➡ 市民が主体となって施設の運営・管理のルール作りを行い、市民が運営・管理に携わり、施設を拠点とした人と人とのつながりづくりを行っている。

★ ご協議をいただきたいこと（再掲）

協議①

以下について、修正事項や追加的な内容があるかを確認

- ☞ 目標を定量化する指標の達成状況
- ☞ 各指標に対する効果発現要因

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標設定の根拠

〈 計画策定当初に設定したまちの課題（再掲） 〉

課題1

集客施設が立地し、市内外から多くの人々が集まる駅周辺において、魅力発信や交流促進機能の充実及び交通結節機能の強化が必要である。

課題2

今後も増加が想定される新たな居住者も含め、市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信・交流の場の創出や行政以外の新たなまちづくり主体の育成を進めていくことが必要である。

課題3

土地区画整理事業による面的整備において従来の緑豊かな地域性を保持できる緑化の推進を図ることが必要である。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】まちの課題の変化

〈 まちの課題の変化 〉

課題

- ① 集客施設が立地し、市内外から多くの人々が集まる駅周辺において、魅力発信や交流促進機能の充実及び交通結節機能の強化が必要である。

課題の改善状況

- ・ リリモテラス公益施設の整備により、市民が自らの活動を発信するとともに交流の場が創出された。
- ・ 中央地区駐輪場の整備により、駅へのアクセス性が向上した。

残された未解決の課題

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、リリモテラス公益施設での活動のPRが十分に実施できず、施設の周知が不十分であった。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】まちの課題の変化

〈 まちの課題の変化 〉

課題 ② 今後も増加が想定される新たな居住者も含め、市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信・交流の場の創出や行政以外の新たなまちづくり主体の育成を進めていくことが必要である。

課題の改善状況

- ・ リリモテラス公益施設や地域共生ステーションの整備にあたり実施した市民主体のワークショップを契機に、市民自らが主体となりまちづくりに参加している。

課題 ③ 土地区画整理事業による面的整備において従来の緑豊かな地域性を保持できる緑化の推進を図ることが必要である。

課題の改善状況

- ・ 土地区画整理事業が順調に進められたことにより、中央3号公園、中央4号公園が整備され、市民に潤いと憩いを与える緑の空間が創出できた。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】まちの課題の変化

〈 まちの課題の変化 〉

事業によって発生した新たな課題

- ・ 整備した各種施設について、施設を活用した交流促進や市民協働による運営管理に向けた継続的な取り組みが課題となっている。

3-1. 事後評価【長久手古戦場駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】 今後のまちづくり方策

〈 今後のまちづくり方策 〉

○ 駅周辺の交通施設の適切な維持管理

- ・ 今後も利便性の高い交通結節点として、駅周辺施設を適正に維持管理するとともに、今後の駅利用者数の推移を把握し、必要に応じた機能強化を検討していく。

○ 市民参画で行う公益施設の維持管理

- ・ リリモテラス公益施設や地域共生ステーションの運営管理について、市民と協働で行うことで、新たな活動主体の発足を図る。

○ 適切な公園の維持管理と市民参加

- ・ 中央3号公園や中央4号公園について、適正な維持・管理を行う。また、公園の活用について、市民と行政が積極的に市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組む。

○ 市民の活動拠点としてのリリモテラス公益施設の継続的かつ多様な利用の促進

- ・ コロナ禍の状況を見ながらリリモテラス公益施設のSNSや市のイベントメール等で周知を図る。
- ・ 指定管理者により、施設利用者同士の連携事業（国際交流協会と大学生等）を促進し、より長久手らしい活動の創出を行う。

★ ご協議をいただきたいこと（再掲）

協議②

以下について、修正事項や追加的な内容があるかを確認

- ☞ 地区の課題の改善状況
- ☞ 今後のまちづくり方策等について

3. 都市再生整備計画の事後評価について

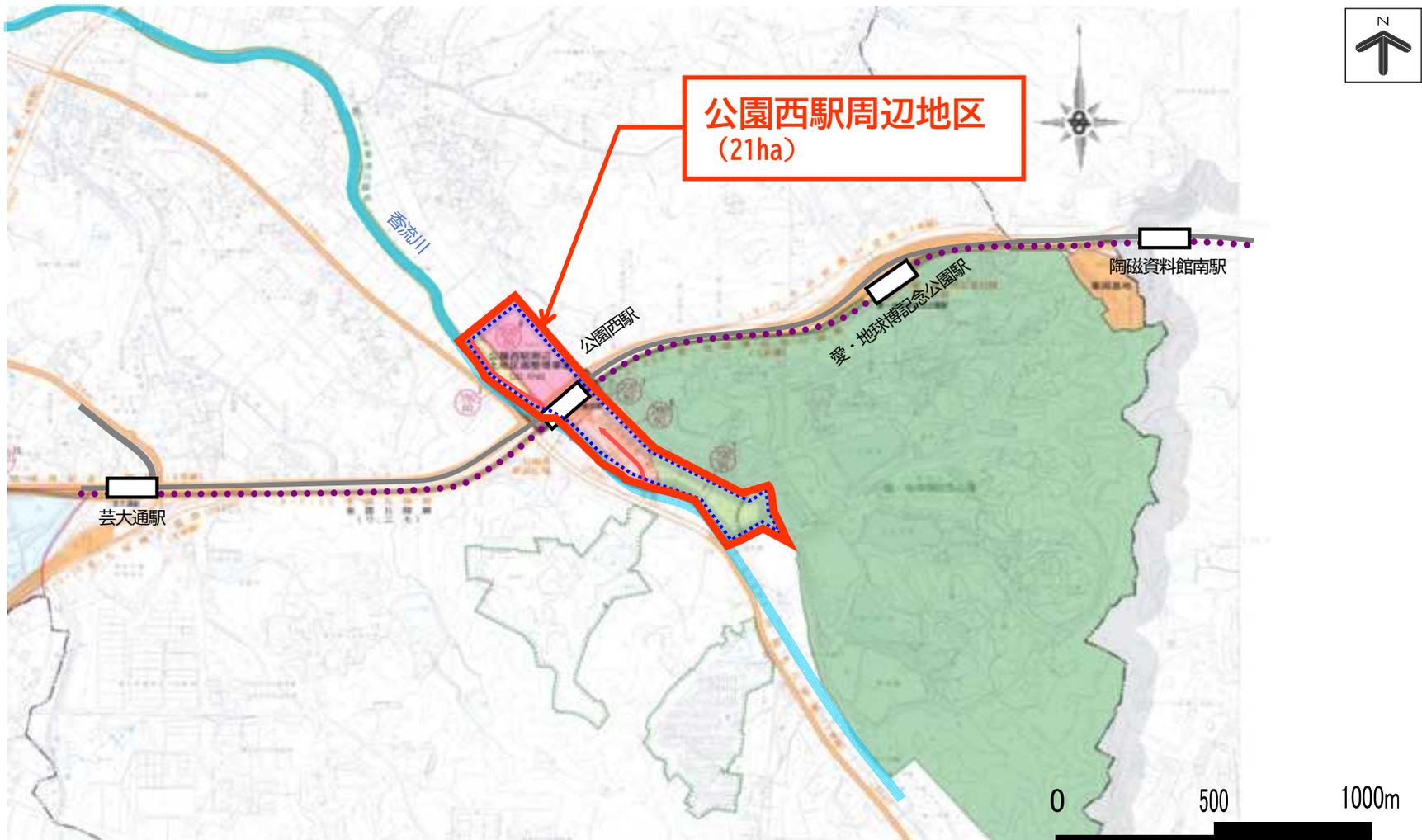
3-1. 長久手古戦場駅周辺地区

▶ 3-2. 公園西駅周辺地区

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(1) 事業対象範囲

【都市再生整備計画 様式(1)-⑥】都市再生整備計画の区域



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(2) 事業当初に設定したまちの課題

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標設定の根拠

課題1

集客施設や住宅が立地し、多くの人々が行き交う駅周辺において、環境にやさしい交通行動の促進に向けた交通結節機能の強化が必要である。

課題2

土地区画整理事業による面的整備を進めるなかで、地域に求められる緑豊かで環境にやさしい空間が創造できるよう、環境配慮型まちづくりの推進に向けた基盤づくりが必要である。

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(3) まちづくりの目標と目標を定量化する指標

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標・目標を定量化する指標

〈 大目標 〉

リニモ駅を中心とした地球にやさしい低炭素なまちづくり

〈 目標 〉

目標①

交通結節点機能の強化を図り、エコな行動が実践できるまちの実現

目標②

潤いと憩いが共存し、身近にエコが実感できるまちの実現

目標を定量化する指標



指 標	定 義	従前値	目標値 (R3年度)
<u>指標 1</u> リニモ駅利用者 (人/年)	公園西駅利用者数	405,000 (H26年度)	466,000
<u>指標 2</u> 計画区域内の人口 (人)	対象地区内における人口	25 (H28年度)	233

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(4) 整備の概要

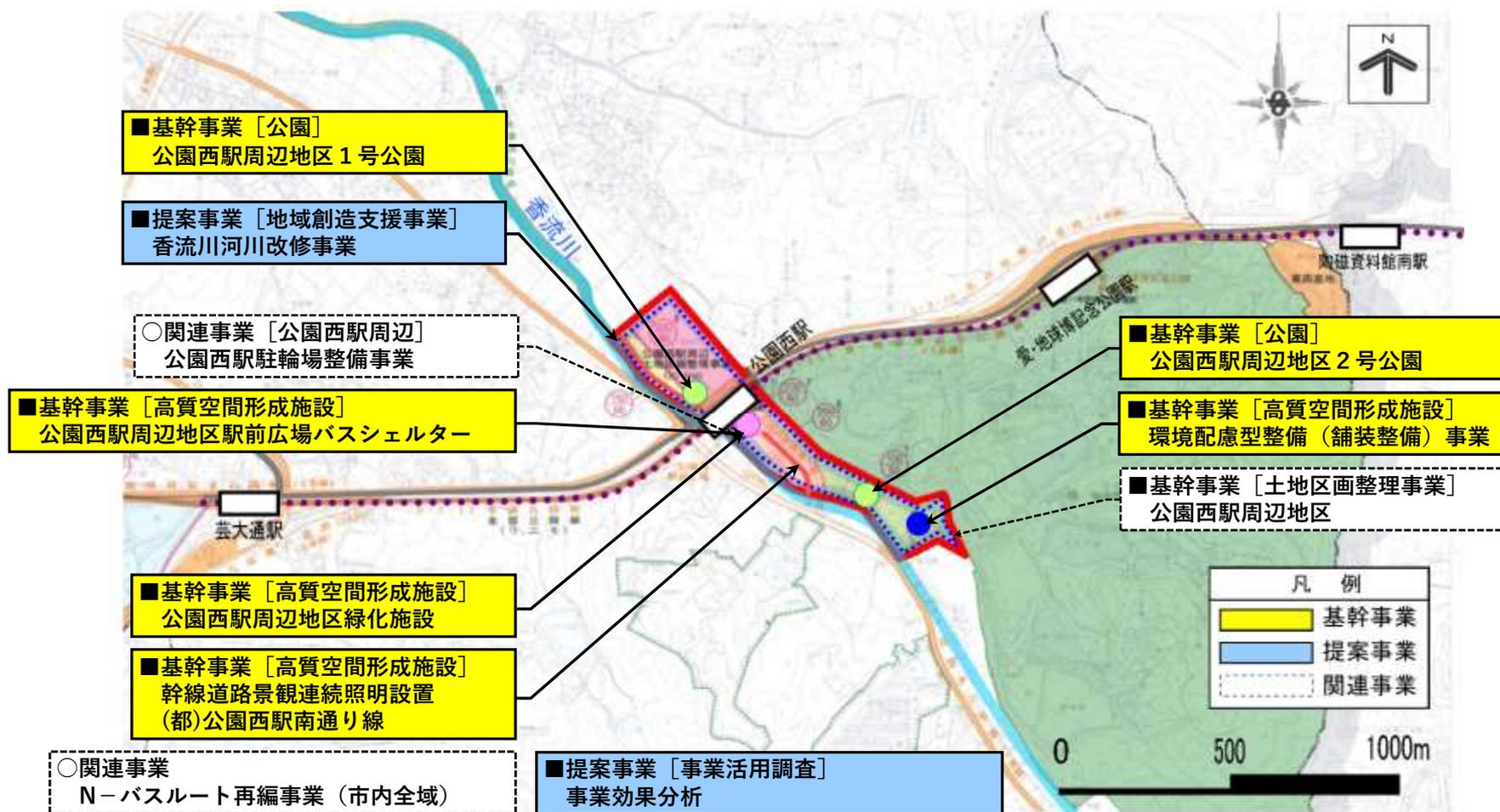
【都市再生整備計画 様式(1)-7-②】整備方針概要図

計画期間

平成29～令和3年度

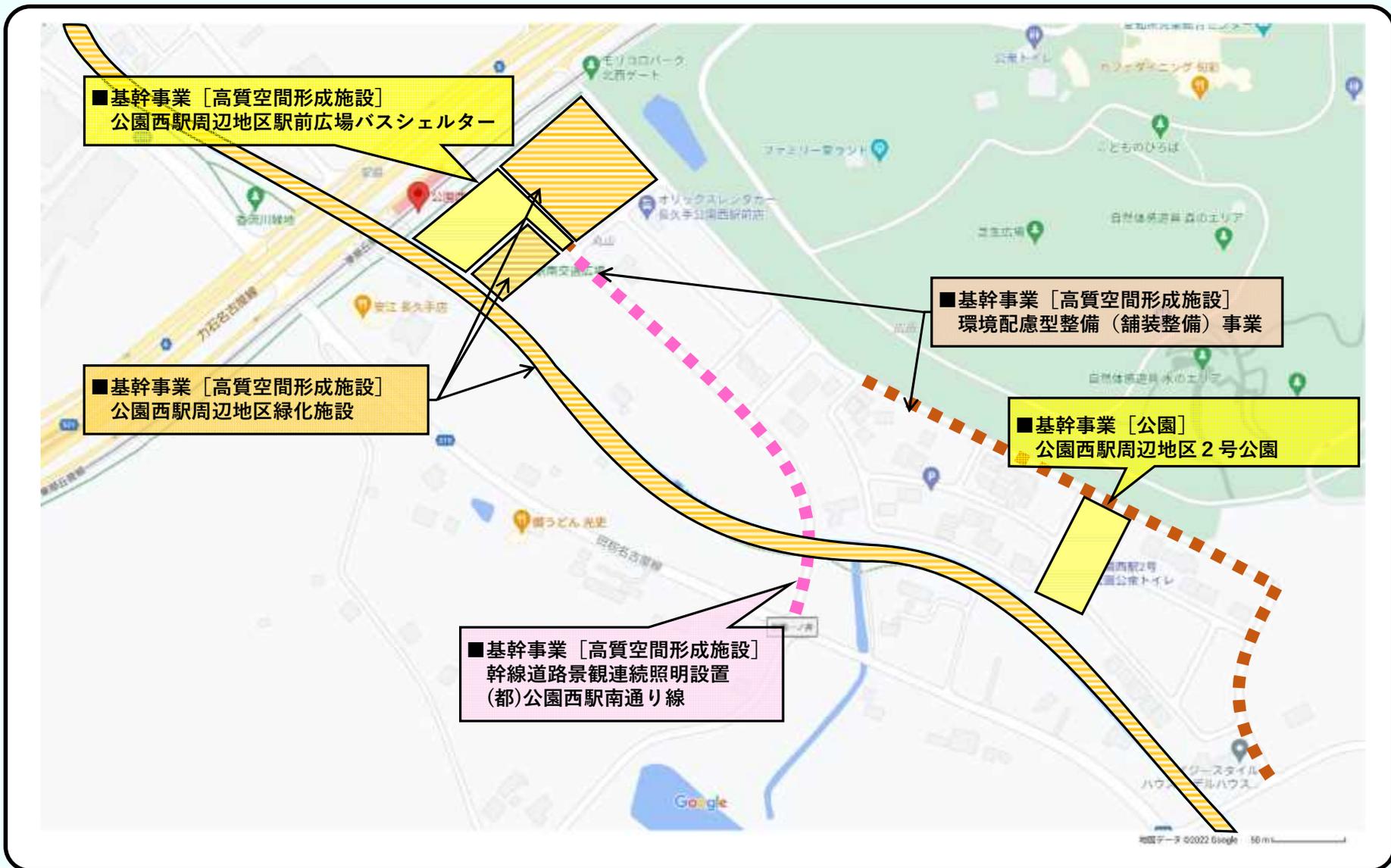
事業費

820百万円（うち34.5%国費充当）



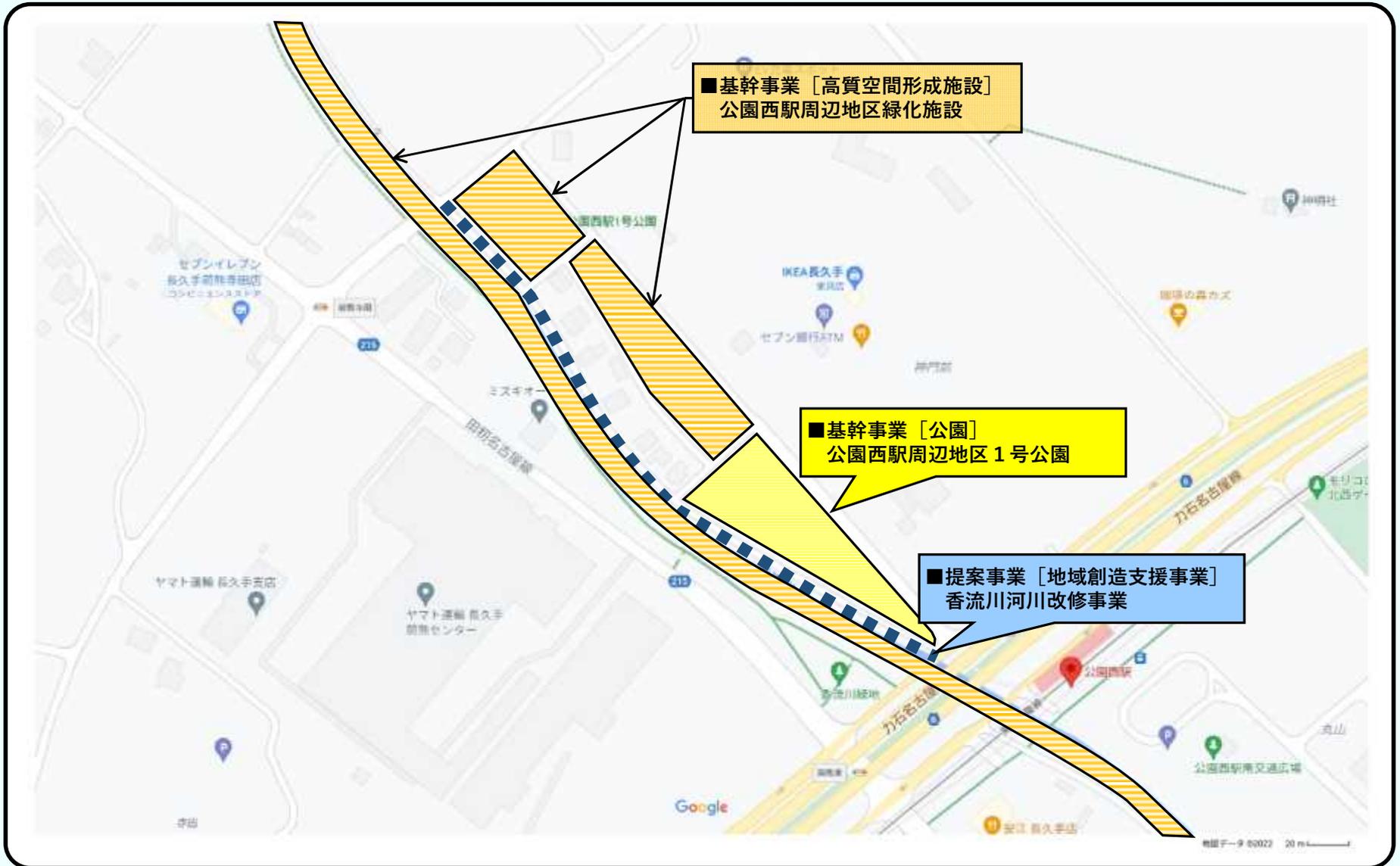
3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(4) 整備の概要 (詳細図)



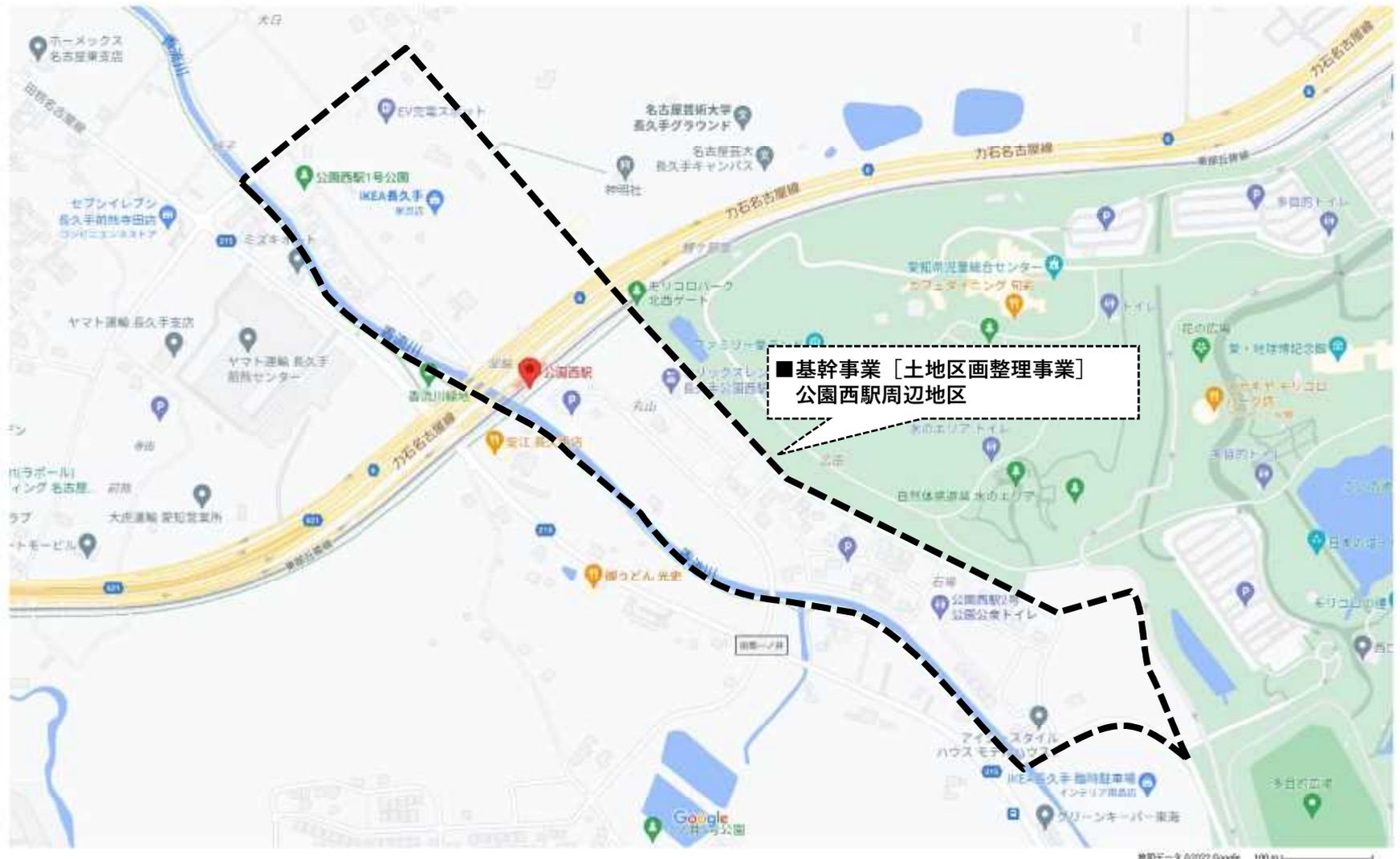
3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(4) 整備の概要（詳細図）



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(4) 整備の概要（詳細図）



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(5) 計画の変更経緯（事業）

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

: 追加した事業 : 削除した事業

種別	事業区分	事業名及び箇所名	規模 (面積、延長等)	当初 (H29.1)	第1回変更 (H30.9)	第2回変更 (R1.9)	第3回変更 (R2.9月)
基幹事業	公園	公園西駅周辺地区1号公園	A = 3,800㎡	○	事業費増額		
		公園西駅周辺地区2号公園	A = 2,400㎡	○	事業費増額		事業費減額
	地域生活基盤施設	公園西駅駐輪場	-	○	削除		
	高質空間形成施設	【緑化施設等（緑化施設）】 公園西駅周辺地区緑化施設	A = 16,278㎡	○	事業費増額	事業費減額	事業費減額
		【緑化施設等（環境配慮型舗装）】 環境配慮型整備（舗装整備）事業	A = 2,262㎡	○	事業費増額	事業費減額	事業量減少 事業費減額
		【緑化施設等（幹線道路景観連続照明設置）】 (都)公園西駅南通り線	L = 291m	○	削除	追加	
		【歩行支援施設】 公園西駅周辺地区駅前広場バス シェルター	L = 60m	○	事業費減額		
提案事業	地域創造支援事業	【河川改修事業】 香流川	L = 295m	○	事業費増額	事業費増額	事業費減額
	事業活用調査	【事業効果分析】 市内	-	○			事業費減額
関連事業	土地区画整理事業	公園西駅周辺地区	A = 20.6ha	○			
	N-バスルート再編事業	市内全域	-	○			
	公園西駅駐輪場整備事業	公園西駅周辺	-		追加		
	幹線道路景観連続照明設置	(都)公園西駅南通り線	L = 291m		追加	削除	

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例①

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■基幹事業【公園：公園西駅周辺地区1号公園】

事業費	76（百万円）
事業内容	隣接する河川と一体となった空間を創出するため、河川に向けた緩傾斜の芝生広場や自然石遊具等の整備を行うもの。

整備中（現在）



イメージ図



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例②

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【公園：公園西駅周辺地区2号公園】

事業費	73（百万円）
事業内容	環境配慮の見える化のため、温度計付時計塔やソーラー照明を整備。また、利用者が自然のなかで自由に遊べるよう芝生広場の整備を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例③

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■基幹事業【高質空間形成施設：[緑化施設]公園西駅周辺地区緑化施設】

事業費	279（百万円）
事業内容	隣接する都市公園や河川と一体となった空間を創出するため、樹種や高さなどに考慮し、緑化施設の整備を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例④

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【高質空間形成施設：[環境配慮型舗装] 環境配慮型整備（舗装整備）事業】

事業費	15（百万円）
事業内容	道路空間における気温上昇抑制や、歩行者等がエコを実感できるように、歩道等の舗装整備を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

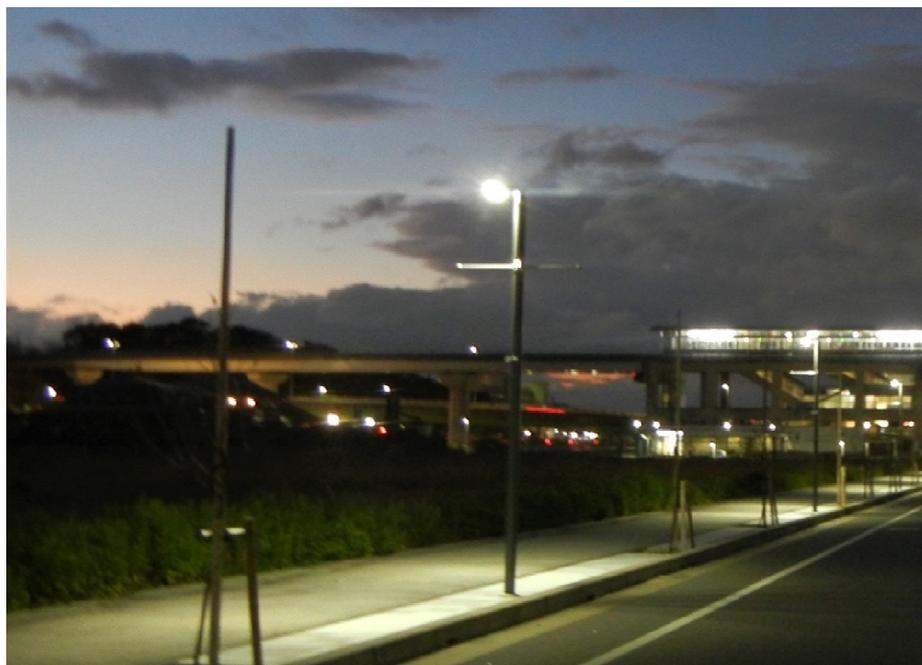
(6) 主な整備事例⑤

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【高質空間形成施設：[幹線道路景観連続照明設置] (都)公園西駅南通り線】

事業費	24（百万円）
事業内容	歩行者の安全性・快適性の向上を図るため、道路及び歩道等の照明設置を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例⑥

【事後評価シート 様式2-1】 1)事業の実施状況

■基幹事業【高質空間形成施設：[歩行支援施設] 公園西駅周辺地区駅前広場バスシェルター】

事業費	42（百万円）
事業内容	バス待ちの空間の快適性の向上を図るため、バスシェルターの設置を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(6) 主な整備事例⑦

【事後評価シート 様式2-1】1)事業の実施状況

■提案事業【地域創造支援事業：[河川改修事業]香流川】

事業費	309（百万円）
事業内容	多様性ある生物の生息環境を保全・創出するため、河川の護岸改修、河床の整備を行ったもの。

整備後



3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

指標の目標値の達成状況

指標	定義	従前値	目標値 (R3年度)	評価値 (見込値)	達成 状況
<u>指標1</u> リニモ駅利用者（人／年）	公園西駅利用者数	405,000 (H26年度)	466,000	631,000	○
<u>指標2</u> 計画区域内の人口（人）	対象地区内における 人口	25 (H28年度)	233	238	○

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

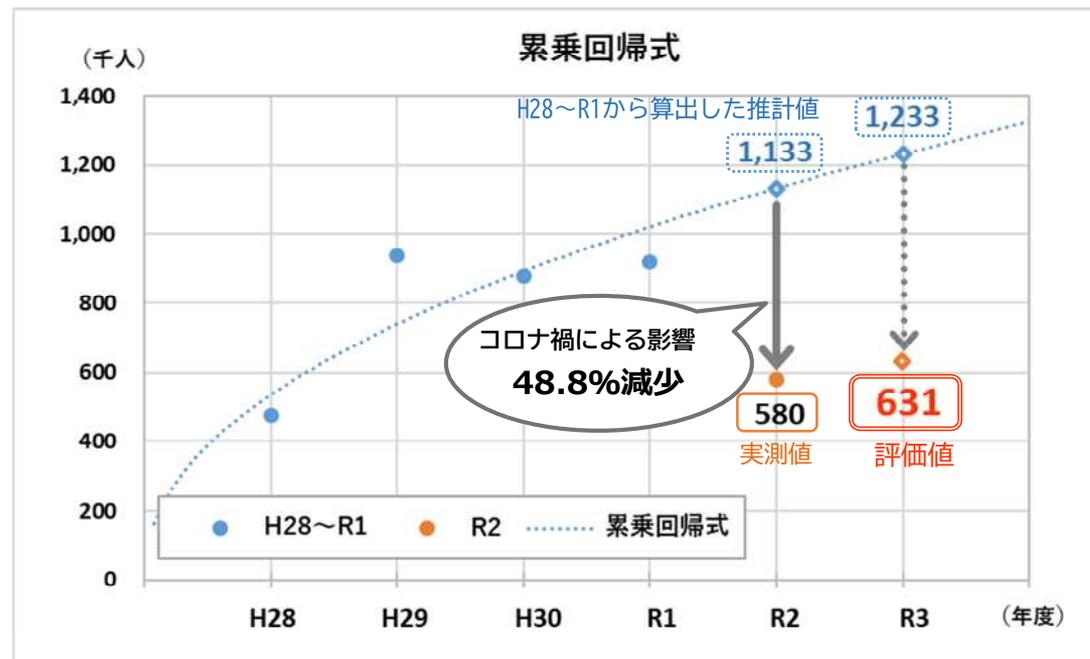
(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標1：リニモ駅利用者（人/年）

従前値 (H26)	目標値 (R3)	評価値 (R3見込値)	達成
405,000	466,000	631,000	○

■評価値の算出



H28～R元年度の利用者数より伸び率を推計し、R2とR3の推計値算出した後、R2の推計値と実測値を比較してコロナ禍による影響度を算出し、R3もR2と同様のコロナ禍による影響を受けるとして、評価値を算出。

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標1：リニモ駅利用者（人/年）

効果発現要因（案）

駅周辺施設の整備（バスシェルター、連続照明、緑化施設、環境配慮型歩道舗装等）による利便性向上、景観性向上のほか、関連事業である土地区画整理事業による人口増加が、駅利用者数の増加に繋がったと考えられる。また、土地区画整理事業地内に立地した駅直結の大型商業施設（IKEA）が開店したことも、駅利用者数の増加に繋がったと考えられる。

指標の達成状況に関する主な事業

【基幹事業】

- ・高質空間形成施設（公園西駅周辺地区緑化施設、環境配慮型整備（舗装整備）事業、幹線道路景観連続照明設置(都)公園西駅南通り線、公園西駅周辺地区駅前広場バスシェルター）

【関連事業】

- ・土地区画整理事業（公園西駅周辺地区）
- ・N-バスルート再編事業（市内全域）
- ・公園西駅駐輪場整備事業（公園西駅周辺）

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標2：計画区域内の人口（人）

従前値 (H28)	目標値 (R3)	評価値 (R3見込値)	達成
25	233	238	○

■評価値の算出

現在の人口に、年度内に完成予定の宅地数を考慮して、評価値を算出。（R3.10.1時点）

□対象区域内の人口、年度内に完成予定の宅地数、1戸あたりの人数

対象区域内の人口（R3.10.1時点）	203人
対象区域内で建築中の宅地数（R3.10.15時点）	14戸
1戸あたりの人数※	2.5人

※公園西駅周辺土地区画整理事業で計画されている1戸あたりの人数

- ・推計される人口の増加数
② × ③ = 35（人） ...④
- ・①④より、評価値を算出
① + ④ = 238（人）

〈参考〉

R4.1.1時点の人口：219（人）

評価値との差：19（人）

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(7) 指標の目標値の達成状況・効果発現要因

【事後評価シート 様式2-1】2)指標の達成状況

○指標2：計画区域内の人口（人）

効果発現要因（案）

駅周辺施設、公園、護岸改修等の整備により生活環境が整ったことのほか、土地区画整理事業で宅地化が進んだことが、計画区域内の人口増加に繋がったと考えられる。

指標の達成状況に関する主な事業

【基幹事業】

- ・公園（公園西駅周辺地区1号公園、公園西駅周辺地区2号公園）
- ・高質空間形成施設（公園西駅周辺地区緑化施設、環境配慮型整備（舗装整備）事業、幹線道路景観連続照明設置(都)公園西駅南通り線、公園西駅周辺地区駅前広場バスシェルター）

【提案事業】

- ・地域創造支援事業（河川改修事業 香流川）

【関連事業】

- ・土地区画整理事業（公園西駅周辺地区）
- ・N-バスルート再編事業（市内全域）
- ・公園西駅駐輪場整備事業（公園西駅周辺）

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(8) 実施過程の評価

【事後評価シート 様式2-1】5)実施過程の評価

■住民参加プロセスの実施状況

2号公園基本設計アンケート調査及び意見交換会 【計1回（H29年度）】

- ・アンケート調査及び意見交換会を実施し、地域住民とともに公園のコンセプトを作成した。これにより設計方針が決定したとともに、住民の公園に対する愛着を生むことができた。

▶ 公園の活用について、地域住民と協働した取組を模索していく。

★ ご協議をいただきたいこと（再掲）

協議①

以下について、修正事項や追加的な内容があるかを確認

- ☞ 目標を定量化する指標の達成状況
- ☞ 各指標に対する効果発現要因

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【都市再生整備計画 様式(1)-②】目標設定の根拠

〈計画策定当初に設定したまちの課題（再掲）〉

課題1

集客施設や住宅が立地し、多くの人々が行き交う駅周辺において、環境にやさしい交通行動の促進に向けた交通結節機能の強化が必要である。

課題2

土地区画整理事業による面的整備を進めるなかで、地域に求められる緑豊かで環境にやさしい空間が創造できるよう、環境配慮型まちづくりの推進に向けた基盤づくりが必要である。

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】まちの課題の変化

〈 まちの課題の変化 〉

課題 ① 集客施設や住宅が立地し、多くの人々が行き交う駅周辺において、環境にやさしい交通行動の促進に向けた交通結節機能の強化が必要である。

課題の改善状況

- ・ 駅周辺施設の整備（バスシェルター、連続照明、緑化施設、環境配慮型歩道舗装等）による利便性向上、景観性向上により、歩いてみたくなるまちの形成が図られた。

課題 ② 土地区画整理事業による面的整備を進めるなかで、地域に求められる緑豊かで環境にやさしい空間が創造できるよう、環境配慮型まちづくりの推進に向けた基盤づくりが必要である。

課題の改善状況

- ・ 土地区画整理事業が順調に進められたことにより、地区内に1号公園、2号公園が整備されたほか、香流川親水空間整備などにより、市民に潤いと憩いを与える緑の空間が創出できた。

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】まちの課題の変化

〈 まちの課題の変化 〉

事業によって発生した新たな課題

- ・ 整備した各種施設の機能が持続的に発揮されるような取組みのほか、環境配慮型まちづくりを市民とともに推進するための継続的な取組みが課題となっている。

3-2. 事後評価【公園西駅周辺地区】

(8) 今後のまちづくり方策について

【事後評価シート 様式2-2】今後のまちづくり方策

〈 今後のまちづくり方策 〉

○関連施設の適切な維持管理と行動変容の促進

- ・緑化施設、環境配慮型歩道舗装を適切に維持管理することで、まちの維持を図る。

○市民参画を見据えた公園や緑地施設の適切な管理

- ・1号公園と一体となった香流川親水空間やその他の公園について、適正な維持・管理を行う。また、公園等の活用について、市民と行政が積極的に市民活動や地域活動に参加しやすい環境づくりに取り組む。

○市民による環境に優しい居住空間形成の促進

- ・公園西駅周辺地区環境配慮型住宅ガイドラインの周知や市の緑化補助メニューの活用促進に取り組む。

★ ご協議をいただきたいこと（再掲）

協議②

以下について、修正事項や追加的な内容があるかを確認

- ☞ 地区の課題の改善状況
- ☞ 今後のまちづくり方策等について

4. 社会資本総合整備計画の事後評価について

指標の目標値の達成状況（2地区の合計）

【事後評価書】2-II 定量的指標の達成状況

指標の目標値の達成状況（2地区の合計）

指標	定義	従前値 (H29年度)	目標値 (R3年度)	評価値 (見込値)	達成 状況
指標1 リニモ駅利用者（人／年）	長久手古戦場駅及び 公園西駅の利用者数	1,633,000	1,854,000	2,200,000	○
指標2 計画区域内の人口（人）	対象地区内における 人口	11,920	12,449	13,373	○

5. 評価委員会後のスケジュール

[令和3年度] 事後評価方法書の作成

11/1

庁内検討会議

1/4~1/18

市民への事後評価原案の公表及び意見募集

2/4 (本日)

●長久手社会資本整備総合交付金（社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画）評価委員会
⇒事後評価制度の概要・まちづくりの経緯の説明
⇒事後評価・今後のまちづくり方策等について審議

成果・実施過程の評価
効果発現要因の整理
今後のまちづくり方策の検討

事後評価シートのとりまとめ

3月下旬

事後評価結果（最終）の国への報告・公表

[令和4年度] フォローアップ調査

⇒令和3年度末時点の目標を定量化する指標の数値を計測

6. フォローアップ計画について

○目標を定量化する指標の評価値の確定時期

・都市再生整備計画【長久手古戦場駅周辺地区】

指 標	評価値 (見込値)
指標1 リニモ駅利用者 (人/年)	1,569,000
指標2 計画区域内の人口(人)	13,135
指標3 地域共生ステーション 利用者数(人)	9,113

確定値の算出時期・手法

【算出時期】 令和4年8月

【算出手法】 愛知高速交通株式会社のホームページより、令和3年度におけるリニモ駅の年間利用者数を把握し、確定値として整理する。

【算出時期】 令和4年8月

【算出手法】 令和4年4月1日における住民基本台帳人口より、対象となる字別データを抽出し、確定値として整理する。

【算出時期】 令和4年8月

【算出手法】 たつせがある課の資料提供により、令和3年度の南小学校区共生ステーションの年間利用者数を把握し、確定値として整理する。

※見込値：過去の実績から推計した値や交付期間内（今年度中）に数値が変更となる可能性のある数値

6. フォローアップ計画について

○目標を定量化する指標の評価値の確定時期

・都市再生整備計画【公園西駅周辺地区】

指 標	評価値 (見込値)
指標1 リニモ駅利用者 (人/年)	631,000
指標2 計画区域内の人口(人)	238

確定値の算出時期・手法

【算出時期】 令和4年8月

【算出手法】 愛知高速交通株式会社のホームページより、令和3年度におけるリニモ駅の年間利用者数を把握し、確定値として整理する。

【算出時期】 令和4年8月

【算出手法】 令和4年4月1日における住民基本台帳人口より、対象となる字別データを抽出し、確定値として整理する。

※見込値：過去の実績から推計した値や交付期間内（今年度中）に数値が変更となる可能性のある数値

6. フォローアップ計画について

○目標を定量化する指標の評価値の確定時期

・社会資本総合整備計画

指 標	評価値 (見込値)
指標1 リニモ駅利用者(人/年)	2,200,000 (2地区の合計)
指標2 計画区域内の人口(人)	13,373 (2地区の合計)

確定値の算出

2地区（長久手古戦場駅周辺地区、公園西駅周辺地区）の合計を算出

2地区（長久手古戦場駅周辺地区、公園西駅周辺地区）の合計を算出

※見込値：過去の実績から推計した値や交付期間内（今年度中）に数値が変更となる可能性のある数値